会議結果報告書

1　会議名	ごみ処理に関する課題についての意見交換会（浜竹三丁目自治会）
2　日時	平成 30 年 10 月 13 日（土）10：00～11：00
3　場所	兵金山自治会館
4　出席者	（資源循環課）熊澤課長、小田副主査 （環境事業センター）広田主幹、和田主事 （浜竹三丁目自治会）参加人数：39 人
5　内容	本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。 ●有料化の収益より戸別収集の経費が上回る可能性があるため、戸別収集の導入は慎重に検討してほしい。 ●藤沢市が有料化を導入した際に、行政区域を越えて、藤沢市民が浜竹三丁目の集積場所に不法投棄をしたことがあったので、有料化を実施した場合には、不法投棄が増加することを懸念している。現在、集積場所に不適正排出されたごみの一部は、自治会で別の袋に入れ直し、ごみの出し直しをしているが、指定袋となった場合には、自費で購入した指定袋に入れて出し直しをしなければならなくなるため、事前に各自治会へ指定袋を配布してほしい。 →ご意見として頂戴する。なお、不適正排出の対策としては、戸別収集が 1 つの対策として考えられるが、戸別収集を導入した場合の経費を算出するため、環境事業センターの職員による現場確認等を実施しているが、その金額を踏まえて、実施の有無について検討したい。 ●ごみの収集に要する経費は、市民税で賄うべきだと言っている方や、カラス被害の対応が大変なので戸別収集にしてもらいたいという意見を言っていた方もいる。ごみ処理の方法については十分に検討する必要があるが、健康保険料の増加や消費税増税だけでなく有料化を導入した場合の市民ひとり当たり年間負担額 1,500 円前後の新たな負担となると、市民には負担ばかりが目に付くこととなる。是非、茅ヶ崎市民でよかったと思えるような方法を市には実施してほしい。 ●先行市は有料化の対象を、可燃ごみと不燃ごみとしていることは資料で分かるが、茅ヶ崎市が導入したい品目は何も記載されていない。茅ヶ崎市の考えている対象品目を教えてほしい。 →市として有料化の実施の有無はまだ決まっていないが、先行市を参考にして引き続き検討したい。なお、先行市が資源物を対象としていない理由としては、今まで、ごみとして捨てていた資源物を指定袋に入れてしまうとお金がかかるため、費用を抑えようとする意識が働いて、ごみの減量が図られている。また、先行市では、剪定枝や

	自治会清掃などのボランティアごみ、おむつなどの生活必需品については、可燃ごみではあるが有料化の対象とはしていない。 ●ごみの分別のＰＲが不足している。有料化を検討する前に、市はもっと市民に啓発を行うべきである。 ●単身世帯が３割、自治体加入率が８割という状況だが、ここに該当する市民にどのように啓発していくかを検討してほしい。 ●開発行為等により造成される集合住宅について、近隣が迷惑を被るのでごみの出し方や集積場所の設置等の啓発を更に強化してほしい。 →８世帯以上の開発行為については、ごみ集積場所を設置する義務がある。ごみ集積場所の設置に際しては、茅ヶ崎市まちづくり条例を満たす構造であることを完了検査時に環境事業センター職員が現場へ赴き確認している。また、不適正排出が頻繁に見受けられる集合住宅については、管理人から住民へ啓発するよう説明し、環境事業センター職員による各戸への啓発ちらしのポスティング等も実施している。 ●アパートに住む外国人についても啓発に努めてほしい。 →平成 29 年度よりごみと資源物の分け方・出し方の冊子に英語・中国版の分別案内のページを掲載しており、アパートの管理会社等から問合せがあった際に案内している。 ●雑紙だけの説明会を実施してほしい。 ●雑紙にリサイクルできない紙が入っている場合にどのような問題が生じるか。 →雑紙の買取業者が手選別を行う際に、多量にリサイクルできない紙が混在していると買取価格が減額されることが予想される。 ●開発行為に満たない分譲住宅の場合、市としてどのようにごみの指導を行っているか。 →現在は、環境指導員と連携して、個々に対応している状況であるが、よりよい方法について検討していきたい。なお、自治会に加入していない方への周知としては、市の転入手続きの際に配布する市民便利帳にて、ごみと資源物の分け方・出し方と同様の内容を配布している。 ●市内の不動産屋にごみと資源物の分け方・出し方を渡してほしい。また、自治会にも必ず加入するように市から言ってもらいたい。 ●知ってる？紙の分別で、雑紙でもリサイクルできない紙とあるが、この中で、表面

	にリサイクルマークがついているものがある。市がいうリサイクルとリサイクルマークの対象は別のものか。 →別のものである。買取業者に確認してチラシを作成しており、リサイクルマークではなく、このチラシを参考にして雑紙を分別してほしい。 ●ごみの有料化を導入した場合に、減少が期待されるごみ量 10,000 t のごみ処理経費は試算しているか。 →経費として試算できていないので、算出してお示ししたいと考える。 以上